

令和 7 年度第 1 回 東御市伝統的建造物群保存地区保存審議会 次第

日時 令和 7 年 10 月 14 日（火）

午前 10 時 00 分から

場所 東御市役所 2 階第 2 委員会室

1 開会

2 会長あいさつ

3 市長あいさつ（諮問）

4 報告事項

(1) 令和 6 年度国庫補助事業について

(2) 令和 7 年度現状変更行為許可の状況について

5 審議事項

(1) 令和 8 年度国庫補助事業について（答申）

6 その他

(1) 修理相談会について

(2) 海野宿保存活用計画策定事業について

7 閉会

東御市伝統的建造物群保存地区保存審議会 委員名簿

(敬称略)

任期: 令和6年2月1日～令和8年1月31日

氏 名	選出区分	備考
松本 義彦	教育委員会が必要と認める者 (本海野区長)	
梅干野 成央	学識経験者 (信州大学工学部建築学科准教授)	
滝澤 篤	学識経験者 (一級建築士)	
関 理	建築物等の所有者等 (海野宿保存会会長)	副会長
宮下 知茂	教育委員会が必要と認める者 (NPO法人海野宿トラスト理事長, 東御市文化財保護審議会委員)	会長
橋本 俊彦	建築物等の所有者等 (海野宿保存会副会長)	
茂木 裕之	建築物等の所有者等 学識経験者 (木造建築等)	

事務局

職 名	氏 名
企画振興部長	中村 昌彦
文化・スポーツ振興課長	高橋 則幸
文化振興係長	日向 大季
文化振興係副主幹	武田 英俊
文化振興係主査	小暮 絵里子

6 その他

(2) 海野宿保存活用計画策定事業について

海野宿保存活用計画策定事業について

1 背景と課題

重要伝統的建造物群保存地区海野宿は、その選定からおおよそ 40 年がたち、所有者の世代交代が進むなかで、建物及びまちなみの継承は、新しい課題に直面しています。

例えば、人手不足や原材料価格の高騰による修理費用の高騰や耐震化の要請、技術者不足等の物質的・技術的課題だけでなく、地区内で暮らす人の減少、未利用物件の増加等による、地区内コミュニティの衰退といった人的課題があります。

とりわけ、利用方法を見いだせない建物に対して、自己資金を投じて保存を行う意義を疑問視する住民の声は少なくなく、海野宿のまちなみを継承していくために、課題の整理、地区住民による議論、方向性を共有が求められています。

- ・海野宿は選定から約 40 年が経過
- ・所有者の世代交代による継承課題
- ・修理費用の高騰、技術者不足、空き家増加
- ・地区コミュニティの衰退

2 事業概要と目的

これらの課題を解決し、将来にわたって町並みを継承していくために、建物調査と所有者へのヒアリングを柱とした再調査及び保存活用計画策定を実施することにより、住民を中心として関係者が地区の保存・活用の指針共有し、その指針に沿って行動に移すことを目指します。

3 今後のスケジュール等（予定）

●スケジュールイメージ

令和 8 年度	再調査準備委員会を立ち上げ、調査内容や調査方法、調査委託先等について検討。
令和 9 年度	再調査を実施。
令和 10 年度	保存活用計画策定委員会を立ち上げ、再調査をもとに洗い出した課題を整理し、保存活用計画を策定する。